

ハヤヨミ！ 看護政策 No.379

都道府県看護協会長 様
本会職能委員 様

日本看護協会 広報部
2022年12月22日



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

救急医療の現場における 医療関係職種の在り方など議論 —救急医療の現場における医療関係職種在り方検討会—

公開可

◎救急医療の現場における医療関係職種の在り方など議論

救急医療の現場における医療関係職種の在り方に関する検討会

今後の超高齢化・人口急減を見据え、質の高い救急医療を確保するため、救急現場における医療関係職種の業務の在り方を検討することを目的とする本検討会が設置され議論が進められている。本検討会では、①救急医療の現場におけるチーム医療のあり方として、救急現場における医師・看護師等の配置、救急救命士法の改正による効果の検証②救急救命士が実施する救急救命処置について検討される予定。初回となる10月13日は、「救急外来における医師・看護師等の勤務実態把握のための調査研究」（研究代表者：京都大学教授、任和子）が報告され、救急医療の現場における看護師をはじめとした多職種配置に関して議論された。第2回となる12月14日は、「新しい救急救命処置に関する検討状況」（研究代表者：帝京大学医学部教授、坂本哲也）が報告され、救急救命処置の国家戦略特別区域における先行的な実証について議論された。井本常任理事は、両日にわたり救急医療で働く看護師の実態に即した措置の検討を要望した。これまでの議論は、次回の第3回で整理され取りまとめられる予定。（執筆：井本常任理事）

◎医療保険制度改革など議論

社会保障審議会医療保険部会

12月15日に社会保障審議会医療保険部会が開催され、①医療保険制度改革について②議論の整理（案）について議論した。また、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律」の成立について報告した。①については、出産育児一時金の引き上げ額について、本部会で前回47万円（現在42万円）の案が示されたが、今回は50万円に引き上げる案が提示された。また、高齢者の負担増に係る幾つかの激変緩和措置が示された。②の出産費用の見える化について、秋山副会長は妊産婦の安心な出産のためには、助産師外来も重要であるため、妊産婦に提供していくべき情報に「助産師外来」を追加するよう要望した。①②ともに各委員からいくつかの要望が出され、座長預かりとし承認された。（執筆：吉川常任理事）

＜お問合せ先＞ 日本看護協会 広報部

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 電話：03-5778-8547 FAX：03-5778-8478

Eメール koho@nurse.or.jp ホームページ <https://www.nurse.or.jp/>

「ハヤヨミ！看護政策」は、看護政策関連の情報や本会の動きを、都道府県看護協会の皆さまと本会職能委員の皆さまにお伝えするものです。内部活用を基本としていますが、中見出しに記載している「◎」は公開可能な内容、「■」は公開をお控えいただきたい内容です。情報の取り扱いには、ご留意いただくようお願い申し上げます。